

機構防万 成年犯罪への対応が課題 平成24年度 通常総会開催

特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構（河上和男理事長）は11日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で平成24年度通常総会を開催、会員101人中62人が出席したほか、21人が委任状を提出した。

特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構（河上和男理事長）は11日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で平成24年度通常総会を開催、会員101人中62人が出席したほか、21人が委任状を提出した。

総会冒頭、河上理事長の代行として山村秀彦総務委員長は「万防機構は8年目を迎えた。おかげさまで当団体の主旨や事業活動に対する理解をいただき、会員数は年々増加している。万引き犯罪の現状としては、認知件数は減少傾向にあるが、特徴的なこととして、これまで青少年の犯罪とさ

れてきたものが成年の犯罪へと変化していることが挙げられるなど、今後の対策課題も出てきている。会員の皆様のご支援、ご協力をいただきながら、万引犯罪防止に尽力していきたい」とあいさつした。

通年度



山村総務委員長

議案審議に入り、平成23年度事業報告、平成24年度事業計画、役員交代、改正NPO法施行に伴う法人登記の変更がそれぞれ承認され、第一部の通常総会は閉会し、第二部の調査報告・各地の報告会に移った。

加藤和裕調査研究委員長が「平成23年度全国小売業万引被害実態調査報

告」、分析メンバーの北海道大学・龍川哲夫名誉教授が「平成23年度万引に関する全国青少年意識調査報告」、佐藤聖理事が本年2月に緊急提言として発表した「3つの提

言の経過報告」をそれぞれ発表した。また、全国各地の万引防止対策の取り組み報告として、埼玉県警察本部生活安全部少年課の森山稔課長補佐が「埼玉県下

各地の万引防止対策」、京都府警察本部生活安全企画課犯罪抑止対策室の後藤教利警部補と学生防犯ボランティア・ロックモンキーズ代表が「京都府での学生防犯ボランティア活動」、香川県警察本部生活安全部生活安全課の堀江良英課長補佐が「地域人口当たり万引犯罪ワーストワンからの再生」のテーマで、各地の方引防止対策を報告した。